

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2019年7月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで57年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、批評活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する制度「月間賞」を運営しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナー、シンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<http://houkon.jp/galaxy/database/>)」をご活用ください  
(掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など)。

**放送批評懇談会**

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島・齋藤

〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel : 03-5379-5521 Fax : 03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <http://www.houkon.jp>

放送批評懇談会



2019年7月度ギャラクシー賞月間賞

**ドラマ 24「きのう何食べた？」**

4月5日～6月28日放送 24：12～24：52 テレビ東京 松竹 「きのう何食べた？」製作委員会  
西島秀俊と内野聖陽という見事なキャスティングによって理想的な実写化となった。息子に対し深い愛情を注ぎながらもゲイに対する偏見や無意識レベルの差別をしてしまう両親、といった残酷な現実を描きながらも、理想郷のようなささやかな幸福感あふれる2人の関係性は見ていて温かい気持ちにさせてくれた。

**NHKスペシャル「夢をつかみにきたけれど ルポ・外国人労働者 150万人時代」**

7月13日放送 21：00～21：49 日本放送協会

技能実習生や留学生としてベトナムから来日した人々の夢を砕き、身心まで痛めつける日本の現状。人ではなく安価な労働力とみなす日本の貧しさ。収入源でしかない日本語学校。入管法を改正する際に目を背けたこうした実態を報道し続けることは大きな意義がある。

**50日間で女性の顔は変わるのか!?**

7月21日放送 13：15～15：00 日本テレビ放送網

整形やダイエットではなく環境だけで顔が変わるのか検証する企画がまず秀逸。最初に部屋の掃除をやり始めるなど意外な変化も面白かったし、気持ちの変化や人との出会いでこんなにも表情が変わっていくのかという驚きもあった。一方で「大事なものを失ってほしくない」と変わっていくことを危惧するマツコのコメントも効いていた。

**BS1スペシャル「ラストトーキョー “はぐれ者”たちの新宿・歌舞伎町」**

7月28日放送 21：00～22：49 日本放送協会

女性ディレクターによる私小説風にまとめたセルフドキュメント。新宿で45年間、麻雀店を営んでいる71歳の母親の半生を軸に、歌舞伎町など新宿の繁華街に息づくさまざまな人々をクローズアップ。母親の物語に深みがあり、ぐいぐいと引き込まれた。